

主催 ENSEMBLE ERDE

後援

WisEnsemble

Solo Debut
in Japan

< 2026 Georgy Kovalev Asia Recital Tour >

アルヴォ・ペルト:《フラトレス》
Arvo Pärt - Fratres

フランツ・シューベルト: アルペジオーネ・ソナタ イ短調 D.821
Franz Schubert - Sonata in A minor, D. 821, "Arpeggione"

ジョルジェ・エネスク:《コンツェルトシュテュック》
George Enescu - Konzertstück

フランツ・シューベルト:《冬の旅》D.911より 第21曲《辻音楽師》
Franz Schubert - "Der Leiermann" from Winterreise, D. 911, No. 21

ドミートリイ・ショスタコーヴィチ: ヴィオラとピアノのためのソナタ 作品117
Dmitri Shostakovich - Sonata for Viola and Piano, Op. 117

“ ヴィオラ: 響き 反照 影 ”

2026

10/5

(月) 19:00 開演 18:30 開場

浜離宮朝日ホール

Georgy
Kovalev

Viola ゲオルギー・コヴァレフ

with Piano 酒井 茜
Akane Sakai

©Flavio Ianniello

全席指定 (税込) S席 5,500円 | A席 4,000円 | B席 3,000円

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00)

チケットぴあ: Pコード: 335811

イープラス

お問い合わせ
Ensemble Erde
TEL: 090-5990-5912



©Flavio Ianniello

© Andrej Grlic

深く、燃えるような音楽の魂

世界の名手たちと音楽を紡いできたヴィオラ奏者、
ゲオルギー・コヴァレフ。
その音楽の真髄に触れる、日本初ソロ・リサイタル。

ゲオルギー・コヴァレフ ヴィオラ

1990年、ジョージア・トビリシの音楽一家に生まれる。クロンベルク・アカデミーにて今井信子のもとで研鑽を積み、その後、ベルリン・ハンス・アイスラー音楽大学にてタベア・ツィンマーマンに師事。モスクワのユーリ・パシュメット国際ヴィオラ・コンクール、東京国際ヴィオラコンクールなど、数々の国際コンクールで入賞およびファイナリストに選出され、2011年にはヴェルビエ音楽祭よりネヴァ財団賞を授与された。

ソリストとして、クレメラータ・バルティカ、ミュンヘン室内管弦楽団、モスクワ・ソロイツ室内管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団をはじめ、世界各地の主要オーケストラと共演。リサイタルや室内楽の分野でも国際的に活躍し、マルタ・アルゲリッチ、ペアトリーチェ・ラナ、ミッシェル・マイスキー、ギドン・クレーメル、クリスティアン・テツラフ、ステイーヴン・イッサーリス、ユーリ・パシュメット、ファジル・サイ、エマニュエル・アックス、イェルク・ヴィトマンら、世界を代表する音楽家たちと共演を重ねている。

これまでに、シューベルトティアード、ヴェルビエ音楽祭、ハイデルベルクの春音楽祭、コンサートヘボウのロベコ・サマー・シリーズ、ラインガウ音楽祭、クロンベルク・アカデミー・フェスティバルなど、世界各地の著名な音楽祭やシリーズに出演。

2018年、デリアン四重奏団と録音したJ. S. バッハ《フーガの技法》は、OPUS KLASSIK「最優秀室内楽録音」部門にノミネート。2022年にはCPOレーベルのためにヴィオラ協奏曲および三重協奏曲を録音するなど、録音活動にも意欲的に取り組んでいる。

使用楽器は、1650年頃にイタリアの弦楽器製作者アントニオ・マリアーニによって製作されたヴィオラ。

酒井茜 ピアノ

名古屋生まれ。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学にて三浦みどりに師事。卒業後ベルギーに渡り、ブリュッセル音楽院でエフゲニー・モギレフスキー、レメン・ルーヴェン音楽院でアラン・ヴァイスに学び、1等賞を得て大学院課程を修了。その後、パーヴェル・ギリロフ、リリア・ジルベルシュタインのもとで研鑽を積む。文化庁海外派遣新進芸術家研修生。

これまでにクレメラータ・バルティカ、シンフォニア・ヴァルソヴィア、ハンブルク交響楽団、スイス・イタリア語放送管弦楽団、東京交響楽団、ローザンヌ室内管弦楽団などと共演。ラ・フォル・ジュルネ、ラ・ロック・ダンテロン、ルール・ピアノ音楽祭、別府アルゲリッチ音楽祭をはじめ、国内外の主要音楽祭に数多く招かれている。

室内楽にも造詣が深く、マルタ・アルゲリッチ、ギドン・クレーメル、イヴリー・ギトリス、ニコラ・アンゲリッシュ、エドガー・モローら世界的音楽家と共演を重ねる。幅広いレパートリーを持つ一方、近年はシマノフスキ、ヴァインベルグ、シュビルマンなど、20世紀ポーランドの作曲家の作品にも積極的に取り組んでいる。

ワーナーミュージック、ドイツ・グラモフォンの「ルガノ音楽祭」ライヴCDに参加。ソロCDは「レコード芸術」特選盤に選出され、2022年にはアルバム「VOYAGES」をリリース。

2018年よりドイツ・ハンブルクの「アルゲリッチ・フェスティバル」でアーティスティック・プランナーを務めるなど、演奏活動にとどまらず幅広く活躍している。2025年6月には被爆80年 広響室内楽コンサートをプロデュース。

朝日新聞東京本社・新館2階 TEL : 03-5541-8710

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2

「築地市場駅」都営大江戸線（A2出口）すぐ

※A2 出口はエスカレーター、A3 出口はエレベーターがございます。

「築地駅」東京メトロ日比谷線（1、2番出口）より徒歩約8分

「東銀座駅」東京メトロ日比谷線 / 都営浅草線（6番出口）より徒歩約8分

「汐留駅」都営大江戸線（新橋駅方面改札口） / 新交通ゆりかもめ（改札口）より徒歩約10分

「新橋駅」JR（汐留口） / 東京メトロ銀座線（1、2番出口） / 都営浅草線（改札口）より徒歩約15分

主催 ENSEMBLE ERDE

後援

WisEnsemble